

## A I アナウンサーで気象情報を自動音声化！

A I 技術の進歩は、放送の世界も大きく変えようとしています。NHKでは、2018年4月から、『ニュースチェック11』にA I リポーター「ニュースのヨミ子」を登場させていますが、今回、新たに開発したA I アナウンサーは、NHKアナウンサーと放送技術研究所が築き上げてきた技術の粋を結集し、自動音声によって、アナウンサーのように自然で滑らかな“読み”を実現しています。全国に先駆けて、今年3月に、甲府放送局のラジオ気象情報でトライアル放送を行います。

A I によって、機械の自動音声はどこまでアナウンサーに近づいたのか。ご期待ください！

### ■NHKアナウンサーの“読み”を細部まで再現！

NHKのアナウンサーが、先達から習い、深化させてきた、情報を分かりやすく伝える読みの技術を、A I アナウンサーが再現します。過去3年分の甲府放送局の気象情報から抜粋した文章などをNHKアナウンサーが読み、A I に学習させました。文脈に合わせた自然なイントネーションや間の取り方など、気象情報を伝える際にNHKアナウンサーが行っている読みを自動的に再現。“機械っぽさ”を感じない、NHKアナウンサー由来のA I アナウンサーです。

### ■気象原稿まで自動編集！そして、自動送出！

アナウンサーは、気象に関する様々なデータ（注意報・予報・雨量・風速・予想気温・週間天気等）から、伝える内容の優先順位を考え、話し言葉に変換し、放送時間内に情報が収まるように伝えています。アナウンサーが頭の中で行っているこの作業も、今回、自動化しました。気象データから必要な情報を放送時間内にぴったりと入るように原稿を自動作成、A I アナウンサーにより音声化し、それを自動で、ラジオで放送します。

今回は、下記スケジュールで、A I アナウンサーによる気象情報の自動送出を実施する予定です。

### <トライアル放送日時>

3月4日（月）～8日（金）、25日（月）～29日（金）

ラジオ第1 山梨県域 後5：55～5：58（生放送）

※緊急時の対応に備えてアナウンサーが立ち会います

### ■自動音声化がもたらす放送サービスの充実・強化！

ラジオ気象情報の自動音声化の目的は、放送サービスの充実・強化です。NHKが蓄積したアナウンス力と技術力で、クオリティの高い情報提供を安定的に行い、実用化に向けた課題を検証し、将来的に、A I アナウンサーによるラジオ気象情報の実現を目指します。

A I アナウンサーの実用化により、地域放送局のアナウンサーは、取材や番組作りなど、より地域に密着した業務にパワーをシフトすることができます。地域との接点を深め、よりよい地域サービスにつながる放送の充実・強化をはかることを目指しています。

---

トライアル放送に先行して、全国放送のラジオ番組でお聞きいただけます。

### ラジオ第1 特集番組「あなたのそばに A I ボイス！」

2月11日（月・祝） 後1：05～2：55（途中、ニュース中断あり）

A I 技術を使った音声サービスの広がりを紹介し、A I が社会をどう変えていくのかを展望します。番組では、甲府放送局から自動音声による気象情報を放送します。

---